

お客様導入事例

日産化学工業株式会社

BusinessSPECTRE®を導入し、
SAP®との柔軟なデータ連携環境を短期構築

「価値創造型企業」として研究・開発に注力するとともに、積極的なIT活用によるコアコンピタンス強化を推進する日産化学工業株式会社。同社では、2006年に実施したSAPシステムのアップグレードにおいて、電通国際情報サービス (ISID) のBI構築支援ツールBusinessSPECTREを活用し、独自のWebベース情報活用システム「N-Web」とSAPシステムの柔軟なデータ連携環境を短期間で構築。グループ企業を含めた組織横断的な統合BI環境の強化に成功しています。

Case Study



日産化学工業株式会社
理事
情報システム部長
田尻 正宏氏



日産化学工業株式会社
情報システム部
課長
藤岡 隆氏



日産化学工業株式会社
情報システム部
課長
玉島 良則氏

SAPクエリ解読エンジンを搭載した
データ連携ソリューション

1887年に、日本初の化学肥料メーカーとして設立された日産化学工業株式会社。現在は「価値創造型企業」の理念のもとに、基礎化学品・農業化学品・医薬品・電子材料などの幅広い分野で、最先端のニーズに応える数多くの製品開発を行っています。

グローバルな視点に立脚したブランド力向上、競争力強化を目的に、従来から積極的なIT基盤整備を進めてきた同社では、2002年4月に基幹システムをSAPのERPシステムで統合。同時に、SAPシステムに日々蓄積されるデータ活用の仕組みとして、BI (Business Intelligence) の導入に着手。2003年9月にはMicrosoft® SQL Server™ 2000のBI機能を使ったWebベースの情報活用システム「N-Web」を独自開発し、SAPシステムとともにグループ企業12社に横展開しています。さらに同社は、日本企業としてはいち早くSAP ERP 2005へのアップグレードを実施し、2007年1月から本稼働を開始しています。SAPシステムのアップグレードに際して重要な課題となったのが、情報活用を支えるフロントエンドであるN-Webを、SAP ERP 2005といかにシームレスに連携させるかということでした。そこで採用されたのが、SAPシステムとMicrosoft SQL Server 2005間の高度なデータ連携機能を備えたISIDのBI構築支援ツールBusinessSPECTRE

(ビジネス・スペクトル)です。情報システム部 課長の藤岡隆氏は、その採用理由を次のように説明します。

「SAPシステムに蓄積されるデータをBI環境に統合するためには、まず的確なデータ抽出を支援するツールが不可欠です。独自のSAPクエリ解読エンジンを搭載し、SAPクエリのデータをMicrosoft SQL Server 2005に転送するBusinessSPECTREは、まさに私たちの考えるBI環境に最適なツールでした。さらに魅力的だったのは、追加・変更・削除されたレコードだけを抽出して転送する差分転送管理機能を備えていることです。これによって、データ量の増加に伴うパフォーマンス低下も、最小限に抑えることが可能となりました。」

柔軟性、拡張性の高いデータ連携環境を
2ヶ月という短期間で構築

Microsoft SQL Server 2005とのデータ連携環境の構築は、SAP ERP 2005へのアップグレードの見通しがついた2006年後半から実施されましたが、そこで費やされた時間は実質的に2ヶ月にも満たなかったといいます。情報システム部 課長の玉島良則氏は、環境構築と運用支援のための機能が充実していることも、BusinessSPECTREの優れた点だと評価します。

「データの抽出構造の定義をSAP GUIベースで設定できることをはじめ、BI環境の構築を容易かつ短期間で

日産化学工業株式会社

実現するための機能が数多く用意されています。また、差分抽出項目の変更などを柔軟に行うことができるため、運用性にも優れています。必要な情報を必要な形で抽出し、多角的な分析をスピーディに行えることがBIシステムのポイントです。BusinessSPECTREの導入によって、社内から新たな要請が出た場合でも、迅速に応えることができる環境が整いました。」

また、Microsoft SQL ServerをDWH（データウェアハウス）とするN-Webは、ExcelをはじめとするOfficeシステムとの親和性が高く、この点もBIシステム運用のアドバンテージとなっています。ユーザは使い慣れたデスクトップ環境から利用することができるため、BI活用は着実に社内に浸透しているといえます。

Microsoft SQL Serverの最新機能で全社的なBI活用を推進

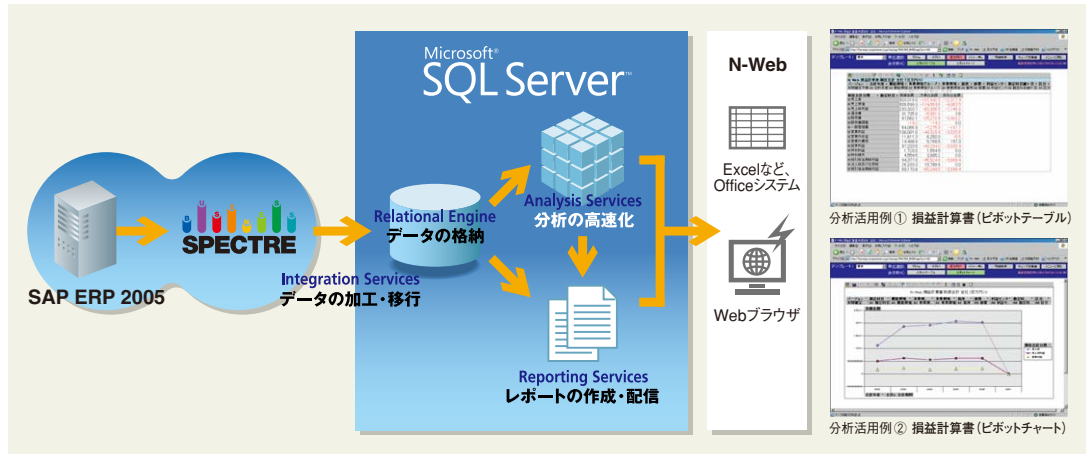
現在、日産化学工業にはグループ企業を含めて約2,200台のPCがあり、その半数以上がN-Webに接続されています。特に営業部門や各事業部の管理部門では、管理会計の視点から日々の進捗管理や予算実行管理などで

積極的な活用がなされています。また、成長の原動力である研究開発部門においても、プロジェクト単位での活用が可能となり、成果追求の推進力となりつつあります。同社・情報システム部長の田尻 正宏理事は、今後のBI活用に大きな期待を寄せています。

「基本的な目標は、個々の現場においてPDCAサイクルに対応した継続的なビジネス改善を実践していくことです。従来は一定の集計結果に基づく分析手法だったのに対し、N-Webでは可視化された生のデータを、そのまま分析活用することができます。単なる数字の分析ではなく、課題解決のためのプランやアクションに応用することも可能です。これによって、リスクマネジメントと競争優位性を同時に実現できると考えています。」

N-Webの今後の運用について、2007年度中にデータベースをMicrosoft SQL Server 2005へバージョンアップすることがすでに決定しています。レポートサービスなど最新の機能を提供することで、N-Webのパフォーマンスを向上させることが目的です。BusinessSPECTREの導入によって確かな進化を遂げたBI環境が、同社に新たな価値創造の可能性をもたらしています。

日産化学工業のBI活用の概要



Profile

日産化学工業株式会社
NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

1887年に創業した国内有数の総合化学メーカー。「価値創造型企業」を理念に研究開発を成長の原動力と位置づけ、「精密有機合成技術」「超微粒子制御技術」「機能性ポリマー技術」など独自のコア技術を育んでいる。2005年に発表された中期経営計画「Vista2010」では、「有機材料」「無機材料」「電子材料」をコア事業として、研究・開発・技術面でトータルな優位性を備えた材料メーカーとしての拡大成長を掲げている。



※BusinessSPECTRE、ビジネス・スペクトルは、電通国際情報サービスの登録商標です。
 ※Microsoft、Excel、Windows、Windows Serverは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 ※SAPその他記載されているすべてのSAP製品及びサービス名は、SAP AGのドイツ及びその他の国における登録商標または商標です。
 ※記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※記載内容は、予告なく変更する場合がございます。※不許複製、無断掲載。

[お問い合わせ先]

株式会社 電通国際情報サービス

エンタープライズ ソリューション事業部 〒108-0075 東京都港区港南2-17-1
 TEL:03-6713-7100 FAX:03-6713-9902 E-mail:erp-info@isid.co.jp

<http://www.isid.co.jp/>

000000000

